

事務事業名		都市公園施設整備事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業																															
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目																															
	施策名	15 良好な生活空間の創造		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計	款																														
	基本事業名	04 公園・緑地の整備		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成29 年度～)		01	08																														
根拠法令		都市公園法第2条の3		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】		05	03																														
所属	部課名	都市整備部 土地利用課		年度～ 年度		事務事業区分																															
	課長名	鈴木 康文		↓ ※全体計画欄の総投入量を記入		A 政策事業	B 施設整備																														
	係名	公園緑地係	電話	0192-27-3111		C 施設管理	D 補助金等																														
	担当者	佐藤 克敏	内線	358		E 一般(A～D以外)																															
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																																	
都市公園の園路バリアフリー化やトイレの公共下水道への接続・水洗化工事を行う。防災拠点機能と市民に親しまれるレクリエーション機能を併せ持つ都市公園として、おおふなと防災公園を整備する。事業費は、都市公園のトイレの水洗化工事、防災公園の測量設計業務などに支出される。				<table border="1"> <tr><td>総投入量</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>事業費</td><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>財源内訳</td><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>				総投入量	国庫支出金		事業費	都道府県支出金		財源内訳	地方債			その他			一般財源			事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量	国庫支出金																																				
事業費	都道府県支出金																																				
財源内訳	地方債																																				
	その他																																				
	一般財源																																				
	事業費計(A)	0																																			
人件費	正規職員従事人数																																				
	延べ業務時間																																				
	人件費計(B)	0																																			
	トータルコスト(A)+(B)	0																																			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
・防災公園の測量設計、トイレ等新築工事設計		ア	トイレが設置されている都市公園の箇所数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
・なし		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
公園等利用者、公園等施設		名称	
		単位	
		カ	水洗化されていない都市公園の箇所数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
公共下水道等が供用開始されている区域の都市公園について、公共下水道等への接続工事を行なう。		名称	
併せて、園路をバリアフリー化し、障がい者等の利用の便益を高める。		単位	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ	水洗化済みの都市公園の箇所数
都市公園から排出される汚水を適切に処理し、生活環境の改善を図る。		シ	都市公園の水洗化率
		ス	%

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	14,000			15,000	15,000	
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円	12,500	34,000		120,000	13,500	13,500
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,598	1,626			1,500	1,500
		事業費計(A)	千円	28,098	35,626	0	120,000	30,000	30,000
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	500	500	50	500	500	500
		人件費計(B)	千円	2,000	2,000	200	2,000	2,000	2,000
		トータルコスト(A)+(B)	千円	30,098	37,626	200	122,000	32,000	32,000
⑤ 活動指標		ア	箇所	34	34	-	35	35	
⑥ 対象指標		カ	箇所	6	4	-	4	2	
⑦ 成果指標		サ	箇所	28	30	-	31	33	
		シ	%	82	88	-	89	94	
		ス						100	

事務事業ID	1180	事務事業名	都市公園施設整備事業
--------	------	-------	------------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
 岩手県が整備し、平成7年4月3日から市が管理委託を受けている鬼越公園には合併処理浄化槽が設置されている。以降、公共下水道等の供用開始に合わせてトイレを新築・改修し、水洗化や園路のバリアフリー化の工事を行なうとともに、末崎町の大田公園と立根町の上手公園には浄化槽を設置した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
 公共下水道等の供用区域が徐々に拡大している。  
 汲取り式のトイレは、供用開始後3年以内に下水道への接続・水洗化が義務付けられている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 公園利用者から、トイレの改築(水洗化、バリアフリー化)の要望が寄せられている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 園路のバリアフリー化や水洗化により、利用者が快適に利用でき、良好な生活環境の保全につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 公共の施設として市が設置し、管理運営する公園等である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象は、市が設置している都市公園等とその利用者に限定される。 意図としては、施設の設置目的やその機能を発揮する上で必要な事業であり適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 将来的な管理費の縮減や施設の安全性・快適性向上のためには、計画的にトイレ等の施設更新を進めていくことが必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 供用開始後3年以内の下水道への接続は法定義務である。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費のほとんどが業務委託費と工事費であり、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 入札、契約、進捗管理など必要最小限の事務であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公園は一般に開放されているため、受益機会は公平である。また、不特定多数の人が利用する公共施設であるため、一部の有料公園の施設使用料以外に受益者負担の考えはない。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 令和3年度の市民意識調査で「身近なところに公園や広場が整備されているか」との問いに、地区別にはばらつきはあるが、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合が全体で55%となっている。 しかし、コスト削減と施設の安全性・快適性維持を両立するため、施設整備にあたっては、公園施設長寿命化に係る指針等を考慮するとともに、優先度や個別施設計画を定期的に見直すなどして、計画的な実施を検討する必要がある。 現段階で防災公園の整備が計画されているが、その後の公園の新規設置に関しては原則不可としつつ、有利な財源の確保など総合的かつ慎重に検討する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	●		×																		
	低下		×	×																		

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	復興事業による公園数の増加、また、公共下水道の整備に伴うトイレの水洗化など、計画的な施設整備を検討する必要がある。 なお、今後の財政状況や管理状況から判断しても、公園の新規設置を原則不可とすることは妥当であると考え。